

自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに JA九重町飯田は総合事業を展開します

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

具体的な取り組みは、別紙の次期中期計画や自己改革工程表をご覧ください。

主な取り組みを次の3点により紹介します。

1. 直売所出荷者の売上高向上に向けた取り組み

【目標：出荷者1人あたり平均売上高2万円アップ】

✓野菜週間等の地元野菜を活用したイベントを開催し、直売所の売上高拡大を図るとともに、出荷者一人当たりの平均売上高アップを目指します。

2. 他直売所との連携強化による売上高の拡大に向けた取り組み

【目標：売上高150万円アップ】

✓地元農産物の販路拡大を図るため、県下各JA直売所への出荷を行い、売上高拡大に向けた取り組みを行います。

3. 新規就農者の確保に向けた取り組み

【目標：新規就農者2名確保】

✓行政等関係機関と連携し、新規就農者の確保およびそのサポートを行います。

なお、当JAの営農指導事業の主な取り組みは次の通りで、予算額は8,300千円となっています。

- ① 地域の活性化と農業生産の拡大にかかる活動を行います。
- ② 農協組織への活動に対して、助成を行います。
- ③ 生産者と消費者の交流と農産物の消費拡大に取り組むため、農業祭等を開催します。
- ④ 広報活動を強化するため、JAだより等の広報誌の発行を行います。